

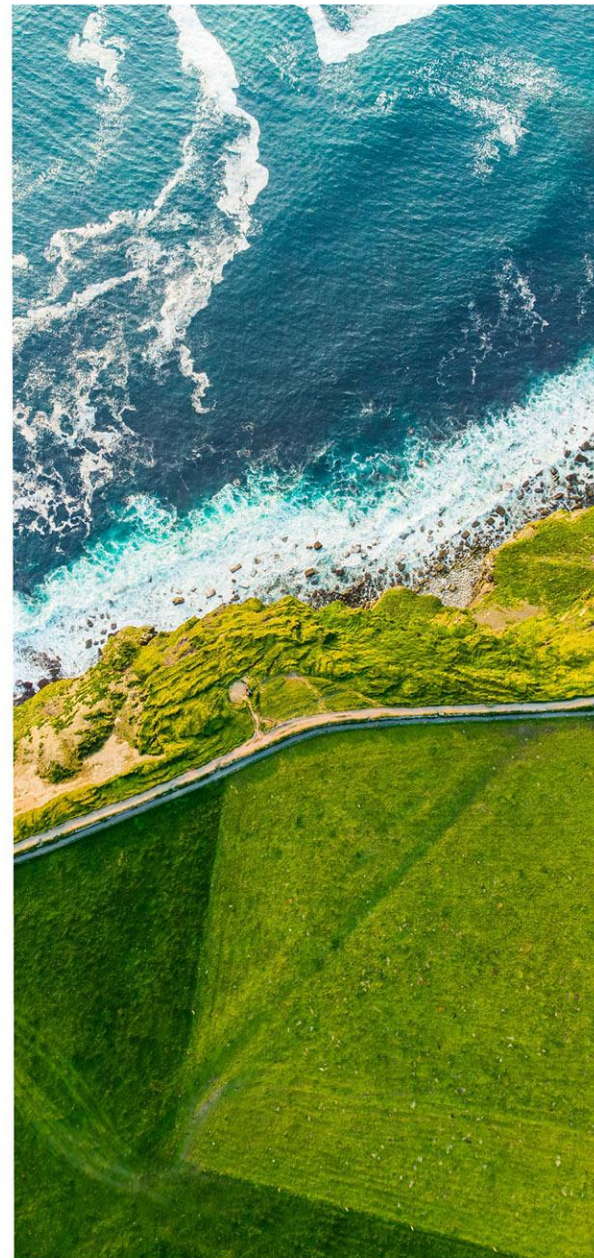
# SEKISUIKASEI

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

積水化成品工業株式会社

(東証プライム 証券コード：4228)

2024年5月31日



## I. 現状認識

- ▶ 目標は、2030年度 ROE=8.0%以上 (2023年1月公表)
- ▶ 実績は、ROEもPBRも低水準に留まる (2023年度 ROE 1.9%、PBR 0.41倍)



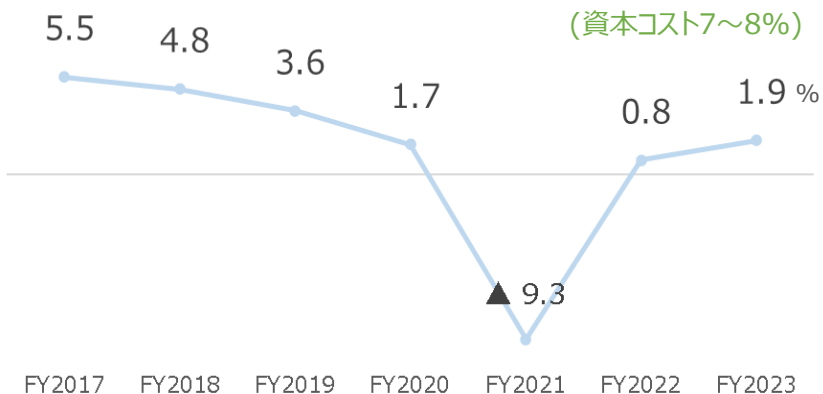
### ■ 低PBRの主要因

「収益性改善の遅れ」と「資本効率の低さ」

→ 不採算事業の早期改善、成長事業へのシフト、資本効率の改善が課題

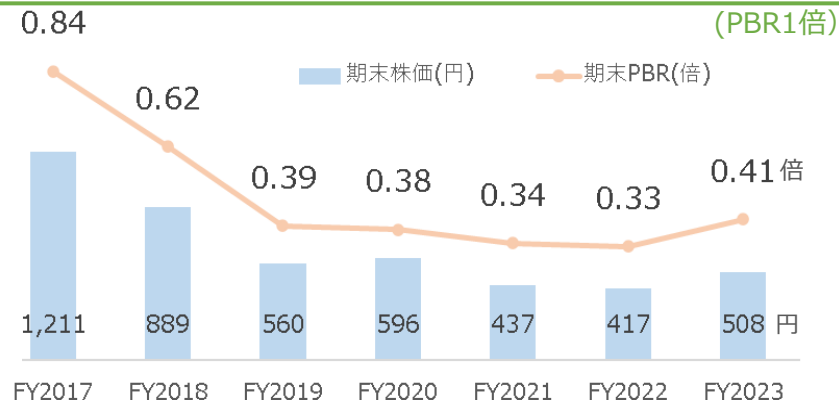
### ROE

株主資本コストを下回る傾向が続く



### PBR

1倍割れかつ、極めて低い水準に留まる



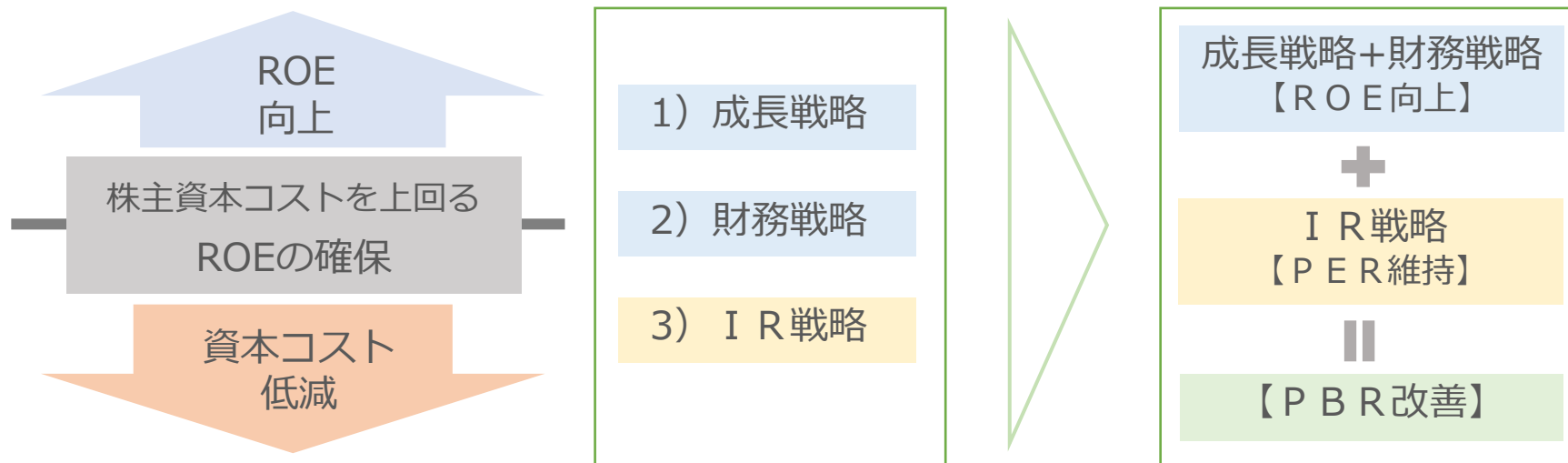
## Ⅱ. 改善に向けた方針および目標

目標 2030年度 ROE = 8.0%以上、営業利益率 8.0%以上  
 2024年度 ROE = 1.5%以上、営業利益率 1.9%以上

### 2024年度方針

- 1) 成長戦略：高収益事業、成長市場へのシフトを加速させる
- 2) 財務戦略：安定した財務体質を構築する
- 3) I R戦略：情報開示の充実と、投資家との建設的な対話を充実させる

※ 2025年度からの次期中期経営計画に向け、今年度に更なる検討や各種指標や目標設定を行う



## Ⅲ. 取組みの方向性

## 1. 成長戦略

## 基本的な考え方

## 高収益事業、成長市場へのシフトを加速させる

※ 戦略、指標や目標は、今年度策定する次期中期経営計画で改めて開示予定

## ① 収益力向上策の実行スピードアップ

低採算事業の抜本見直し

高付加価値事業への重点資源投入

新市場開拓、成長投資 など



## ② サステナビリティ戦略と一体化した成長戦略の推進

環境貢献製品群による競争優位性の創出

環境規制強化を機会と捉えた新規展開 など



## ③ 経営基盤の強化

DX推進、SCM改革

人的資本経営強化 など



5  
事業  
領域  
で  
展  
開

## 1. 成長戦略

当社の強みを活かす独自製品で成長市場への展開を加速させ、高収益化をはかる

### 成長市場

●環境・社会課題

地球温暖化、気候変動、海洋ごみ問題、食品ロス問題、水資源枯渇、PFAS規制、  
 少子高齢化、労働力不足、健康寿命伸延、介護問題、自然災害、インフラ老朽化・・・

●技術革新

高速大容量通信、CASE、フードテック、ブレインテック、自然エネルギー活用技術・・・



### 当社の強み

発泡・重合・微粒子化・ゲル化技術、素材～加工品までの一貫製造、グローバル拠点



### 事業展開の方向性

食	エレクトロニクス	モビリティ	医療・健康	住環境・I礼ギ-
工業型農水産資材 鮮度保持技術	機能性材料 (低誘電化素材など)	軽量化部材 吸音・断熱材料	遠隔医療機器 ウェアラブルデバイス	防災・減災工法 再エネ施設資材

環境貢献製品群 (サステナブル・スタープロダクト)

### 2030年目標

営業利益 130億円・営業利益率=8%・ROE=8%以上

## 2. 財務戦略

### 基本的な考え方

#### 資本効率の改善により、安定した財務体質を構築する

※ 戦略、指標や目標は、今年度策定する次期中期経営計画で改めて開示予定

#### ① 安定的な株主還元

- ・ 配当方針：連結業績の動向に応じ、かつ配当の安定性と内部留保のバランスで総合的に判断
- ・ 配当性向：連結配当性向 30～40%を目標

#### ② 資産の有効性判断による資産効率の向上

- ・ 成長投資、保有資産ともに、有効性を将来キャッシュから検証を実施

#### ③ 政策保有株式の縮減

- ・ 取締役会で定期的に保有意義を確認、縮減議論を継続

#### ④ 運転資金効率の改善

- ・ DX推進によるSCM機能向上 → 棚卸資産の圧縮、売掛債権回収の早期化

### 3. IR戦略

#### 基本的な考え方

#### 情報開示の充実と、株主・投資家との建設的な対話を充実させる

※ 戦略、指標や目標は、次期中期経営計画で改めて開示予定

#### ① IR情報の発信強化と対話の充実

- ・株主・投資家との建設的な対話の継続（決算説明会、1on1ミーティングなど）
- ・当社ウェブサイトへの決算説明会動画掲載、個人投資家向けページ開設

#### ② 英文同時開示

- ・決算短信・決算説明資料・その他適時開示資料の英文同時開示を実施（2025年4月1日～）

#### ③ 投資家期待値とのギャップ解消

- ・取締役会にて投資家との対話内容を共有、議論の充実を図る（四半期毎・年4回）
- ・投資家との対話内容に関する情報開示の充実（URL: <https://www.sekisuikasei.com/jp/a.php?id=597>）

#### ④ 2030年目標達成に対する確からしさの訴求

- ・2030年に向けた事業成長シナリオ、非財務を含めた価値創造シナリオの充実（次期中計、統合報告書）

**SEKISUI**KASEI<sup>•</sup>

Our Planet. Our Tomorrow.